大塚だより

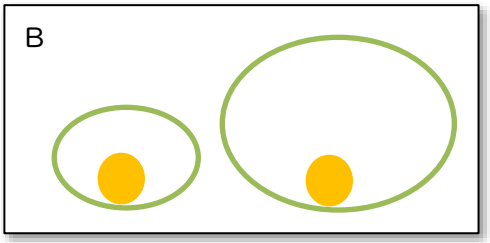
大田区立調布大塚小学校
校長　玉野　麻衣

一人一人の「得意」や「できる」をさらに伸ばす

校長 玉野 麻衣

下図をご覧ください。

A 図：左右、どちらの円が気になりますか。　B 図：左右、円の中にある●、小さく見えるのはどちらでしょう。



A 図では、右側の円が切れている部分が気になるかもしれません。切れていない部分の方が長いのに、短い部分が気になってしまいます。切れている部分は、苦手なことやできないこと。ほぼできていても、できていないことの方が気になるということを表現しています。

B 図の円の中にある●は、左右同じ大きさです。しかし、囲んでいる円が小さい左側の方が、大きく見えてしまいます。●は苦手なことや困っていること、囲んでいる円の大きさは得意なことやできること。囲んでいる円を大きくしていくことで、苦手や困難さが小さくなっていくということを表現しています。苦手や困難さの軽減や解消につながる手立てを考えるためには、一人一人のよさを生かして、今の「得意」や「できる」をさらに伸ばしていく手立てを考えることが大切です。

今年度も、子どもたちがいつも前向きに全力で学校生活を送る姿に心から感心した１年間でした。意欲的に学習に取り組み、深く学ぶことができたのも、ご家庭・地域の皆様のご理解・ご協力のおかげです。心から感謝申し上げます。１年間ありがとうございました。

３月の生活目標
「1年間のまとめをしよう」

〇3月は、1年間学んだことを振り返る時期です。自分が1年間で成長したところや次学年に向けた課題を明らかにし、目標をもって新しい学年を迎えましょう。

３月の保健目標
「耳を大切にしましょう」

〇３月３日は耳の日です。小さな声でのおしゃべりは 30～40db(ﾃﾞｼﾍﾞﾙ)。大きな声を出すと 70～80db です。急に大きな声を出すとびっくりしてしまいます。周りの状況に合わせた「音のマナー」を大切にする１か月にしましょう。

〇　離任式について

教員の人事異動の発令が３月中に行われることに伴い、離任式を修了式後に行います。異動がない場合は、実施しません。

〇　学級編成について

全学年でクラス替えを行います。持ち物類の学級名の記載は新学期に行ってください。

１年間を振り返って

１年生

わくわくドキドキの入学式から始まった１年生。初めてのことばかりだったと思いますが、話をよく聞いたり、６年生から教えてもらったりして、自分でできることがどんどん増えていきました。たくさんの人と関わって、友達と協力したり、自分の考えを相手に伝えたりする力も伸びました。友達の立場に立って考えると、気持ちよく過ごせることにも気付いています。とても立派な１年生です。一生懸命過ごして成長した１年間に自信をもって、２年生に進級してください。さらなる成長を、心から楽しみにしています。

２年生

「自分もみんなも」を学年のキーワードとして、学習に生活に取り組んできました。「自分も楽しい、みんなも楽しい」「自分も分かる、みんなも分かる」「自分もできる、みんなもできる」と言葉を足しながら考え、過ごした１年間でした。自分のやるべきことに一生懸命に取り組み、余った時間は人のために使う姿がたくさん見られました。

もう少しで中学年。これからも、友達と協力して様々なことを経験し、自分から積極的に行動して、さらに成長してくれることを楽しみにしています。

３年生

中学年として、やる気満々でスタートした３年生。クラス替えで緊張した様子も見られましたが、勇気をもって声を掛けたり、一緒に遊んだりして、友達の輪を広げました。各教科の学習では、友達とともに学ぶ楽しさを感じながら、グループ活動に取り組みました。生き生きと問題に取り組み、考えを広げ、深める姿に感心しました。

この一年間で一人一人が大きく成長しました。明るく、元気で、粘り強い子どもたちです。これからもそれぞれの良さを生かし、友達と一緒に高め合いながら成長していく姿を楽しみにしています。

４年生

２階の最高学年として、他学年にも意識を広げながら１年間を過ごしてきました。また、連合音楽会に参加し校外での大きな舞台も経験しました。日常の学習では、総合的な学習の時間を中心に各教科で、１学期には新聞・パンフレットまとめ、２・３学期にはグループでの発表を多く行い、様々な表現、発信の方法を学びました。回数を重ねて行くうちに相手意識も高まり、友達の良さを見付けながら表現の幅もどんどん広がってきました。

何事も意欲的に取り組む子どもたち。これからもそのよさを発揮し、友達と高め合いながら活躍してほしいです。

５年生

「３階に上がる」という緊張感をもってスタートした５年生。委員会活動や家庭科の授業、外国語校外学習など、初めて経験することも数多くありましたが、中でも子どもたちを大きく成長させたのが「伊豆高原移動教室」です。わずか１泊２日でも自分の家を離れて集団生活を送ることは、気付いていなかった自分のよさや課題を知る貴重な経験になりました。時間を守ったり身の回りを整理したりするのは、自分のためだけでなく周囲にとっても大切であること。自分が責任をもって活動すれば、困っている友達の力にもなれること。出発時には不安そうな表情を見せていた子が、帰る頃には自信をもって、周囲にてきぱきと指示を出していました。

それぞれが自分のよさに気付けたこの一年。悩んだ日々も宝物にして、堂々と進級してほしいです。

６年生

調布大塚小学校の最上級生として、学校行事、委員会活動、クラブ活動、縦割り班活動で活躍してくれました。役割の大きさに戸惑いや予定通りいかないこともありましたが、友達と一緒に活動を振り返ったり、話し合い活動をしたりすることで、毎回の活動で学んだことを次に生かしていました。少しずつ自信を付けていくことで、６年生としての頼もしさも大きくなりました。堂々とやり遂げる姿は、下学年のお手本にもなりました。

残り１カ月間、自分たちが６年間で学んだこと、成長したことを振り返り、中学校生活につなげられるようにするとともに、５年生に最高学年としての自覚や立ち振舞いを堂々と伝え、調布大塚小のよき伝統を下学年につないでほしいと思います。